



四国ろうあ連盟
KIZUNA

2017年6月1日
第45号

768-0051 観音寺市木之郷町 1116 番地 1 西讃ふくろうセンター
四国ろうあ連盟 FAX 0875-27-7708
ホームページ <http://seisan-fukurou.jp/publics/index/13/>

発行人：竹島 春美
編集人：近藤 龍治

あさいと四国の手話 ようやく完成へ

★発行遅れのお詫び★

『あさいと四国の手話』第1巻が2017年5月に販売を始めました。四国全体で本を制作するのは初めてです。

四国各県の手話を保存できたらと2年前から準備を進め、昨年に発行することになっておりましたが、いろいろな事情があつて遅れてしまいました。

先行予約された方に大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。



★あさいと 四国の手話 第1巻 1,080円★

今回の書籍は、本だけでなくDVDがついています。

同じ言葉でも、四国各県によって手話が違うことは当たり前ですが、どのように違うのか比較することはあまりありませんでした。

現在、手話は言語であると認識されつつあります。昔のろう者たちが使っていた手話を大切にしたいと考え、その手話を残すべく保存が必要になってきました。また、本だけでなく実際に見てわかるようにDVDもつけて販売できたらと制作に至りました。

各県協会・各県通研にて販売しております。学習や研究などに活用していただけますよう、ぜひお買い求めください。

全国からのご注文も受け付けいたします。詳しいことは西讃ふくろうセンターまでご連絡ください。

四国ろう相談支援研修会 2017 新緑

～相談支援事業で思うこと～



2017年5月14日 日曜日 四国ろう相談支援研修会を開催しました。社会福祉法人ラーフ理事長毛利公一氏をお迎えして「相談支援事業で思うこと」をテーマにお話いただきました。

毛利様は頸髄損傷で首から上が動くだけの身体ですが、バイタリティーあふれる方で、参加者はひきつけられました。

「障害者」のことをあえて「挑壁者(ちょうへきし

ゃ)」と呼び、多くの人に勇気や感動を与えてくれます。

今回は、相談事業の当事者としてさまざまな意見を聞かせていただき、考えさせられることが多々ありました。

障がいの分野は違うけれど、相談者の目線で対応すべきだという共通部分があるので、今後、私たちの対応力が求められると感じました。



四国ろう者のつどい 四国はひとつ 2017

2017年7月2日(日) 愛媛県四国中央市の四国中央市福祉会館・四国中央市保健センターで開催する予定です。

午前はろう者のつどいで、事業報告、決算報告、事業計画、予算審議をします。午後は4つの分科会に分かれて研修します。①四尊塾 ②組織 ③女性フォーラム ④高齢者のつどい です。青年フォーラムは今回休止します。ご了承ください。

詳細は各県協会にお問い合わせください。ご参加お待ちしております。

◆編集後記◆ 四国ろうあ連盟「KIZUNA」第45号をお届けします。

★新緑さわやかな季節になりました。★春から夏にかけてはよく体調を崩してしまいがちです。★天候や環境が悪ければ健康に気をつけていても崩してしまいます。★特に高齢者は、注意が必要です。気をつけてもらいたいです。★最近、買い物や料理がしんどくなったと聞きます。そのような高齢者の支援対策も考えなければならないと思います。★掲載して欲しい原稿は、四国ろうあ連盟事務局、もしくは各県協会にご連絡ください。お待ちしております。